

【福岡市水道局委託事業】

「水源の森・秋の植物観察会2017」

福岡市では、水と水を育む水源かん養林の意義と役割について、さらに理解を深めてもらうため、市民参加・体験型事業として春と秋に植物観察会を実施しており、今秋も11月11日（土）に開催。

・参加者：39名+水道局スタッフ8名

・森林インストラクター：5名

（鶴田、平川、野見山、赤松、久保田）

参加者たちは、午前中、水道局の座学を受けて早めの昼食を済ませ、12時よりアイスブレイキング、ストレッチ、諸注意の後、5班に分かれて、普段は入れない曲淵ダム周辺の約4kmのコースを3時間かけて散策し、楽しみました。

前半のダム湖沿いの照葉樹林帯のなか、右側の足元にダムの水がせまる小道は、滑らないように細心の注意を払いながら進む。途中、放置竹林の話や、落ち葉のクッションのきいた土の感触を楽しみながらの水源涵養や水質浄化の話にも納得してくれたようです。

後半の開けた落葉広葉樹の植栽の林道では、ツリフネソウの実をはじいたり、タラヨウの葉に字を書いて遊んだり、スズメバチ（事前に駆除）の顔もまじまじと観察したりしました。センブリ、ゲンノショウコ、ヤナギタデ、フユイチゴなどの味見をし、ヤクシソウ、シロヨメナ、サラシナショウマ、アケボノソウ、サツマイナモリなどの花々や、ノササゲの青紫色の莢を愛でました。手入れのされた杉林の様子や、スギ・ヒノキの伐採後にモミジ、サクラ、クヌギなどが植えられ、混交林を目指している様子も覗きました。他にクロコノマチョウ、コガネタケ、ツチアケビにも出会いました。

周到な準備のおかげで事故もなく、真っ青な空のもと、五感を駆使し、秋を楽しんだ一日でした。参加者たちからは「すごく楽しかった。また春も参加したい。」という声も多く聞かれ、とても満足された様子でした。

（報告；久保田）

